



それでも人生は美しい

ドナウの薔薇・ブダペスト…激動の20世紀を駆け抜けたある一族の100年にわたる愛と美酒の物語。

太陽の雫

しづく

レイフ・ファインズ レイチャエル・ワイズ ウィリアム・ハート

ジェームズ・フレイン ジェニファー・エール ローズマリー・ハリス デボラ・カラ・アンガーモリー・バーカー

監督・脚本:イシド・ワーン・サボー 脚本:エスラエル・ホロヴィツノ 撮影:ラジオ・コルタイ/音楽:モーリス・ジーラー/製作:ロバート・クラントン、アンドレア・カミーリ/1993年/カナダ・イングランド/「時間」ビスマルク賞/後援:日本ハガリーベルト協会/提供:(株)新日本映画社/配給:エイベックス・サヨウ

1999年ヨーロッパ映画祭3部門受賞/2000年ゴーラーテン・グローブ賞3部門ノミネート

特別協力:朝日新聞社

一族にふりそそぐ、大いなる愛の光

太陽の雫

■ヨーロッパ映画祭3部門受賞(主演男優賞・撮影賞・脚本賞) ■ゴールデン・グローブ賞3部門ノミネート(作品賞・監督賞・オリジナル作曲賞)

20世紀ハンガリー

激動の時代を駆け抜けたある一族の盛衰

19世紀末、ユダヤ系であるゾネンシャイン(ドイツ語で「太陽」という意味)一族が「サンシャインの味」という秘伝の薬草酒で財を築く。その栄華は永遠に続くかの様に思われたが、やがて一族にも歴史の荒波が押し寄せる。この物語はイヴァン・ゾネンシャイン(レイフ・ファインズ)が、祖父イグナツ、父アダム、そしてイヴァン自身の生きてきた激動の100年を追憶する形で語られていく壮大な叙事詩である。

目まぐるしく変化する社会情勢の中で、二重帝国時代を生きたイグナツは、判事として名声をあげ、皇帝の名の元に裁きを行なう。ナチス独裁政権下でユダヤ人迫害の暗雲が立ち込める中、アダムはフェンシングに才を花咲かせ、ベルリンオリンピック金メダリストにまで昇りつめる。戦後の共産政権時代の中、警察でファシスト狩りに奔走したイヴァンは、若くして少佐に抜擢される。彼らはそれぞれ違う道を選びながら、愛する家族とハンガリー人としての誇りを守り続けるため、宗教そして名前さえも捨てて権力や名誉を得ていく。しかし、その代償として様々なものを失う。

ゾネンシャイン家で唯一3世代を見守り続けた女性、ヴァレリーは知っていた。財産も失い、先祖の残した秘伝のレシピすらなくしてしまった一族が帰る場所はただひとつ…。物語はやがて一筋の光に導かれ、観るもののかを熱い涙で満たす感動のクライマックスを迎える。



アカデミー賞監督イシュトヴァーン・サボーが描く壮大な叙事詩を、実力派俳優レイフ・ファインズが演じる渾身の大作。

監督は「メフィスト」(81)でアカデミー賞外国語映画賞を受賞、「コンフィデンス 信頼」(79)の大ヒットで日本でも知られるハンガリー出身の巨匠・イシュトヴァーン・サボー。百年にわたるゾネンシャインの男たち3代の性格の違いを的確に表現し、かつ脈々と流れる血筋の連続をも感じさせる出色的演技を見せたのは、「シンドラーのリスト」(93)「イングリッシュ・ペイシェント」(96)でアカデミー賞の常連となったレイフ・ファインズ。また、「蜘蛛女のキス」(85)でアカデミー賞・カンヌ映画祭主演男優賞を受賞したウイリアム・ハートや、「スターリングラード」(00)で人気急上昇のレイチャエル・ワイズ、「ほんとうのジャクリーヌ・デュ・プレ」(98)で頭角を現したジェームズ・フレインなど、まるで絵巻物のように現れる豪華共演陣も見どころのひとつだ。

さらに、スタッフも名作を生むにふさわしい顔ぶれが揃った。撮影は、「メフィスト」(81)などサボー作品や「海の上のピアニスト」(99)など、こちらもハンガリー出身であり、今やヨーロッパを代表する名カメラマンのラヨシュ・コルタイ。音楽は、「アラビアのロレンス」(62)「ゴースト・ニューヨークの幻」(90)など、もはや説明の必要もない映画音楽界の巨匠モーリス・ジャールが手掛けている。

11月30日(土)より12月13日(金)まで
《輝き》のロードショー!!

特別前売券1500円

絶賛発売中!(当一般1800円の処)

●劇場窓口、阪急・阪神・HEP FIVEの各プレイガイド、チケットぴあにてお求め下さい。
※劇場窓口にお求めの方には、先着でオリジナル・ポストカード(限定)をプレゼント!

10年に1本の名作 100年の物語

ヴィスコンティの『山猫』や、
ベルトルッチの『1900年』の功績に続く作品
——ニューヨーク・タイムズ紙

心底夢中にならざるを得ない、
どうしようもなく惹き付けられる一族の伝説。

NBC



梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

<http://www.cinemabox.com/>